

補聴器とコミュニケーションの講座

聞こえないのはあなたひとりだけではありません。
聞こえづらい=難聴は認知症の危険因子です。

思い当たることはありませんか？

- ☑ テレビのボリュームが大きいと言われる
- ☑ 宅配便が届いてもチャイムが聞こえない
- ☑ 音は聞こえるが、言葉が聞き取れない
- ☑ 大勢で話していると、言葉が聞き取れない
- ☑ 話しの聞き返しが多くなった

難聴は放置してはならないのです。

補聴器について、聞こえの低下を補う方法について
同じ聞こえに悩む仲間と一緒に学びましょう。



4回別々の内容の
連続講座です。

日時 7月14日・21日・28日・8月4日
毎週水曜日連続4回：13:30~15:30(入場は13:00~)

会場 高津老人福祉・地域交流センター (高津いきいきセンター)

川崎市高津区末長3-24-4【裏面に地図】

溝の口駅南口のりば①より市バス溝21, 23, 25系統「末長」下車徒歩2分

溝の口駅南口のりば⑤より東急バス溝22系統「蟹ヶ谷ゆき」「末長」下車徒歩2分

※自家用車でのご来場はご遠慮ください。【参加費無料】

対象者 川崎市内在住の、耳の聞こえにくい方やその家族、関係者 定員50名

昨年度参加された方からの感想から

補聴器を使うか迷っているが、今回の話を参考にしたい。

一般的な情報よりも、深く補聴器を知ることができた。

わかりやすい話し方で良かった。

思うような効果が出ず、外している時間が長いのですが、つけ続けることが必要とのことですので、続けて着用するようにします。

講座では、話を文字で映し出す要約筆記がつきます。聞こえづらくても安心して参加できます。
マイクの音を直接聞ける、ループ受信機も貸し出します。

補聴器とコミュニケーションの講座のご案内

補聴器講座

◦補聴器の基本的な知識、機種、利点と欠点、利用目的に合った補聴器の選び方や上手な使い方などを学びます。補聴器についての質問を受け、疑問に答えます。聞こえない先輩の体験談を聞く。

コミュニケーション講座

- 読話(どくわ)
(話し手の口形を見るコツをつかみ、聞き漏れを補う方法)
- 手話
(簡単な手話を覚えることで聞き間違いを減らす)
- 聞こえを助ける機器の案内
- 難聴者と要約筆記
- 難聴の方との接し方



講師

(一社) 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
情報文化部長：小川光彦氏
(特非) 川崎市中途失聴・難聴者協会
(読話・手話勉強会講師)

主催

(福) 神奈川県聴覚障害者総合福祉協会
川崎市聴覚障害者情報文化センター

協力

(特非) 川崎市中途失聴・難聴者協会
(有) 千里福祉情報センター

※販売等は一切ありません。

申し込み・問い合わせ

川崎市聴覚障害者情報文化センター

住所 〒211-0037 川崎市中区井田三舞町14-16
電話 044-798-8800 FAX 044-798-8804
メールアドレス kawa-kikaku@kanagawa-wad.jp
ホームページ http://www.joubun.net

補聴器とコミュニケーションの講座参加申し込み

下記ご記入の上、電話、FAX、ハガキ、メールにて、7月9日(金)までにお申込みください。
※補聴器や身体障害者手帳が無くても参加できます。

お名前 _____ 年齢 () 才

ご住所 _____

電話・FAX番号 () - 耳マーク

天候不良などの時の当日緊急連絡先 _____

※携帯電話、メールなど ()

補聴器の有無 有 無 使用している場合はメーカー・型式 []

身体障害者手帳の有無 有 無 持っている場合は [] 級

